

新幹線プレス

2013年 4月19日 No.109

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

「職場ごとの要員数は答える必要はない」！ 野村課長代理の発言は認められない

2013年4月19日、「平成25年度要員計画」を説明する業務委員会が設定され、会社から駅、運輸、車両の系統別の社員数、基準人員が明らかにされました。組合側は、毎年質問している各職場ごとの社員数、基準人員を明らかにすることを求めましたが、幹鉄事の野村課長代理は「答える必要がない」として回答を拒否しました。

組合側はこのような会社対応に抗議し、誰の判断かと質したところ労使の窓口である野村課長代理は「私の判断である」と答えました。

これを受け組合側は、「質問に答えないのは労使協議の否定であり認められない」「これでは業務委員会は成立しない」として業務委員会を中止しました。

新幹線地本は、会社のこのような対応を許しません。断固とした姿勢でのぞみます。

会社は労使協議で組合の質問にしっかり答える！